

高等学校版

令和5年度改訂版

# 教育相談の しおり

教育相談コーディネーター  
管理用

おだよう ゆるキャラ



うめちゃん

ともちゃん

神奈川県立 小田原支援学校  
支援連携部 相談支援係



# 【目次】

1. 特別支援学校の地域センターとしての役割(P. 2)
2. 小田原支援学校の教育相談には、次のような方法があります(P. 3)
3. 巡回相談とは・・・(P. 4)
4. 高等学校から こんな相談を受けました(P. 5)
5. ≪専門職（臨床心理士・理学療法士）の活用≫(P. 6～)
6. 巡回相談の流れ(P. 8～)
7. 受付 など(P. 10)
8. 各書式 サンプル(P. 11～)



湯河原校舎 ゆるキャラ  
ユノッシー



大井分教室 ゆるキャラ  
たんぼ丸



おだようサブキャラ  
おだエモン



大井分教室 ゆるキャラ  
シカ分教ガール



大井分教室 ゆるキャラ  
さくらシカ丸

## 《特別支援学校の地域センターとしての役割》

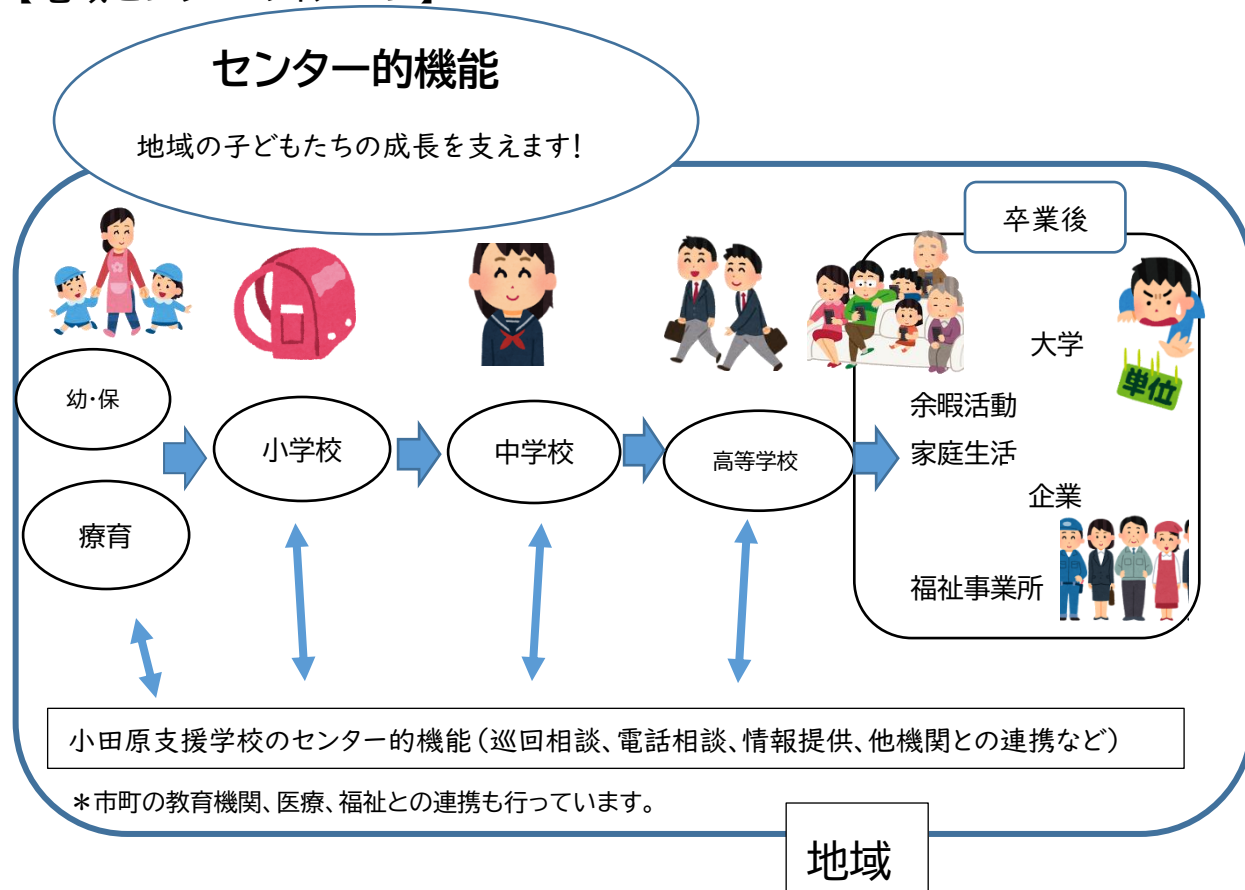
\*小田原支援学校では、センター的機能の一環として、

① 電話・来校による相談 ②巡回相談 ③職員研修会を実施しています。

\*特別支援学校が今まで培ってきた専門性の中から、教育活動における悩みや相談、地域資源の情報などを提供しています。また、学校・施設などを訪問して実際に子どもたちを観察し、観察を通しての見立てや、今後の支援方法についてケース会議を通して先生方と一緒に考える巡回相談を実施しています。また、支援教育にかかわる研修会なども行っています。

\*これらの活動は、教育相談担当（教育相談コーディネーター）3名、臨床心理士1名、理学療法士1名の計5名が主に対応させていただきますが、相談内容によっては各学部（小学部・中学部・高等部）の教員が何うこともあります。

### 【地域センターのイメージ】



\*外部相談機関に連絡する前に、支援策に基づき、校内の職員で連携をとり、実践しましょう。(P4参照)  
そして、考えた支援策で改善がみられなかった場合、外部の相談機関に、その情報も伝えましょう。

# 小田原支援学校の教育相談には、 次のような方法があります

## 《電話による教育相談》

電話でお話をうかがいます。  
教育相談担当または、臨床心理士、理学療法士が対応いたします。

## 《来校による教育相談》

電話で予約をし、日時を決めて来校していただきます。  
当日相談が可能な場合もありますが、巡回相談や研修会  
などで不在の日があるため、事前に連絡をいただき、  
日程調整をさせていただきます。



## 《巡回相談》

教育相談担当者が、各園、小・中・高等学校に訪問し  
観察を通し、子どもの見立てや今後の支援方法について  
先生方と一緒に考えるケース会議を行います。



まずはお電話ください。



### 連絡先

神奈川県立小田原支援学校  
教育相談担当

みわ かずこ かるうじ えり いしはら なおみ かじやま まゆこ  
三輪 和子・唐牛恵梨・石原尚美・梶山 繭子

TEL 0465-37-2758 17時まで

## 《巡回相談とは・・・》

- 教育相談担当が、高等学校に訪問して対象の子どもの行動観察をし、見立てや今後の支援方法について、先生方と一緒に考えます。
- 子どもたちが抱えている課題や困難さを読み解き、どんな支援をしたら課題や困難を乗り越え成長していけるかを考えます。
- 支援学校の教員が、生徒への直接支援をするものではありません。  
先生方が行う支援指導方法についての提案をさせていただきます。
- ケース会議に、保護者の同席を希望される場合は、事前にご相談ください。



高等学校から  
こんな相談を受けました



授業中に寝て  
しまい、授業に  
参加できない

集中しない  
落ち着きがない

きれやすい

提出課題が  
出せない

他生徒との  
トラブルが多い



学習しても  
すぐに忘れる

黒板をノートに  
写すのに時間がかかる



予定をすぐに  
忘れてしまう

全体への指示のみでは  
動けない

教材・教具  
について

保護者への  
対応の仕方

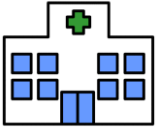


教室の  
環境設定

からだの  
使い方



医療機関や  
福祉との連携



支援機器  
について



## 《専門職の活用（臨床心理士・理学療法士）》

小田原支援学校には現在、臨床心理士と理学療法士の2名の専門職が配置されています。コーディネーターと一緒に、各種相談などに専門的な立場から応じています。

### 臨床心理士とは・・・

「発達」、「こころ（気持ちや考え方）」、「行動」、「コミュニケーション」を専門としています。臨床心理学的な視点からこれら进行评估し、先生方と一緒に支援方法について考えます。

#### こんな相談に応じます

- ・さまざまな問題行動  
（自傷、暴力、暴言など）
- ・情緒不安定への対応  
（不安、落ち着かない、緊張が強いなど）
- ・ソーシャルスキルやコミュニケーション  
（人と関わる手段の育成）
- ・感情コントロール  
（急に泣きだす、急に怒りだすなど）
- ・性教育  
（異性との関わり方、自分の性への理解など）
- ・自己肯定感の育成・二次障害の予防  
（自信がない、自己否定的など）
- ・ストレス対処  
（ストレスを解消する方法について）
- ・学習意欲  
（授業に気持ちが乗らないなど）
- ・不登校への支援の仕方  
（発達の問題が背景にある不登校について）
- ・保護者の心理的サポート  
（保護者自身が不安定 養育に関わる相談など）

### 理学療法士（PT）とは・・・

「姿勢・動作」などの身体に関する支援を行います。発達的な視点を取り入れながら身体の特徴を捉え、児童生徒が自分の身体を意識し、主体性を持って授業に参加しやすいように、先生方と一緒に支援方法について考えます。

#### こんな相談に応じます

- ・姿勢・運動  
（姿勢保持が難しい、動きがぎこちない、体育の運動の取り組み方など）
- ・補装具・車椅子  
（車椅子・靴・歩行器・装具等の使用目的・調整、車椅子・補装具の修理や作製に関する助言など）
- ・身体の特徴・変化  
（筋肉の状態や筋力、手足の関節可動域、動きの特徴などの助言・確認、医療機関への相談の必要性や配慮事項の助言など）
- ・教材・教具について  
（姿勢保持や運動に関する教材・支援グッズの紹介、情報提供など）
- ・環境設定  
（教室内外の環境設定・調整、使いやすい福祉用具等の情報提供など）
- ・その他  
（身体に負担が少ない移乗・介助の方法、日

※巡回相談では発達検査など、各種検査は実施していません。





## 《専門職の活用(ブロック内活用)》

県立特別支援学校では、自立活動教諭(専門職)として、  
理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)、心理職を配置しています

県立特別支援学校では県内を5つのブロックに分け、それぞれのブロックごとに配置された自立活動教諭(専門職)が連携を図り、巡回相談、来校相談等が円滑に行われるような体制を作っています。作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)に巡回相談を依頼したい場合も、小田原支援学校へご相談ください。下図の湘南西部・県西ブロック内の特別支援学校に配置された専門職に依頼をすることができます。

### 理学療法士(PT)

姿勢・動作など身体に関する支援を行います  
身体の特徴をとらえ、補装具(車いすなど)や介助の方法などの環境設定について検討し、総合的に子どもが授業に参加しやすいように一緒に考えます。

### 作業療法士(OT)

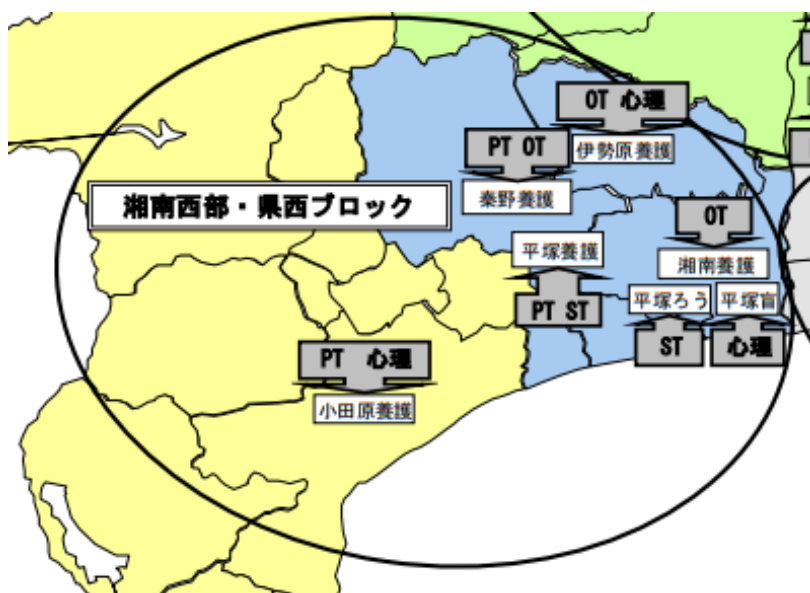
学習や生活、遊びなど、  
さまざまな活動に関する支援を行います。  
その子らしい豊かな生活が送れるよう、食事、着替え、手先の使い方、気になる行動などについて、  
具体的な支援を一緒に考えます。

### 言語聴覚士(ST)

ことばやコミュニケーション、  
食べる力を育むための支援を行います  
ことばを話すことや理解すること、また要求の伝え方などのコミュニケーションに関すること食べることについて、子どもが持っている力を発揮できるように

### 心理職(心理)

子どもの認知発達に関する支援や  
メンタルヘルスをを行います  
学習面や生活面、友だち関係などの社会性も含め、生きる力を育むことを目指して、発達全般にかかわる支援を行います。  
知覚や認知の特性に応じた指導方法や内容を一緒に考えます。



令和4年度 専門職配置図  
(令和5年度については、問い合わせてください)

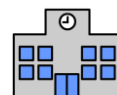
## 《巡回相談の流れ①》(依頼から前日まで)

対象の子どもや相談内容が明確になった段階で小田原支援学校にお電話ください。

### ★受付★

P10参照

・ 電話で相談の主訴と対象の生徒の個人情報についてお知らせください。 (受付番号をお知らせします)



### ★対象となるお子さんについての情報★

P12 様式1の送付

主訴 (困っていること) や、現在の状況等についてお伝えください。

1日の巡回相談は、1~3名で、お願いしています。  
学年クラスがまたがる場合は、2クラスを目安にしてください。

#### ★ 専門職 ★ P6

相談内容により、専門職 (臨床心理士・理学療法士) が同行する場合があります。  
また、支援グッズ・サンプルの紹介、地域資源や医療など必要な情報提供などもさせていただきます。



### ★職員派遣依頼★

P11 参照

巡回日が決まりましたら、職員派遣依頼を小田原支援学校長宛に送付してください。指定の書式はありません。

## 《巡回相談のながれ②》(当日)

### 《当日の流れ》

#### ★打ち合わせ★

- ・ 当日の日程確認
- ・ 対象生徒の概要
- ・ 観察の際の配慮など

ご用意いただくもの

- ・ 会場
- ・ 対象生徒の個人資料
- ・ 各種資料（相談内容、日程、時間割、クラスの座席表）
- ・ 校内地図

#### ★観察★

必要に応じて、子どもたちに見学者が来ることを事前にお伝えください。

- ・ 対象生徒観察（授業、休み時間など）
- ・ 環境観察

小田支担当者まとめ・打合せ

・ ケース会議に向けてのまとめ

#### ★ケース会議★

- ・ 見立て、支援策
- ・ 今後に向けた話し合い

ご用意いただくもの

- ・ ケース会議会場
- ・ ホワイトボード（黒板）
- ・ 筆記用具（マーカー類）

\*円滑な巡回相談となるよう、ご協力をお願いいたします。

## ★受付★

このような情報があると助かります。  
わかる範囲でお答えください。

1. 相談を申し込まれる先生の名前等

2. 対象生徒の情報

\*名前 ( ) 性別 (男・女)

\*所属

( ) 高等学校 ( ) 年  
その他

現在関わっている相談機関： ( )

\*診断名 ( ) 服薬 有 ・ 無

療育手帳の有無：有 (B2・B1・A2・A1) ・無 身障手帳の有無 種 級

- ・巡回相談受付時に質問させていただく項目
- ・電話での受付時に、受付番号をお伝えします。

## ★対象となるお子さんについての情報★

P.12の**様式1**をメールか郵送にてお送りください。

- 1 メールでやり取りする場合 【アドレス：[odayou001-sh@pen-kanagawa.ed.jp](mailto:odayou001-sh@pen-kanagawa.ed.jp)】
  - ① 空メール(件名：〇〇学校・<受付番号>)を上記アドレスに送信してください。
  - ② **様式1** (P.12)を添付してこちらから返信します。
  - ③ **様式1** (P.12)に記入してまた同じアドレスに返信してください。  
※誤送信を防ぐために上記の手順をとります。ご協力お願い致します。
- 2 メールでやり取りできない場合
  - ① **様式1** (P.12)の項目について書類を作成してください。書式は問いません。
  - ② 「小田原支援学校 教育相談担当」宛てに郵便で送付してください。

### <記入、送付時のお願い>

☆ **様式1** (P.12)には学校名、個人名など個人が特定される情報は記入しないでください。

☆メールを送信時はアドレスを十分にご確認ください。

神奈川県立小田原支援学校長様  
神奈川県立小田原支援学校 様

県立〇〇〇高等学校長

・学校長宛  
・巡回担当者宛  
2通お願い致します。

### 巡回相談職員派遣について（依頼）

時下、御清栄のこととお喜び申し上げます。

〇〇〇〇〇〇〇〇を目的とした巡回相談をお願いいたします。

つきましては、次のとおり〇〇〇〇教諭，〇〇〇〇教諭を派遣して下さるようお願いいたします。

小田原支援学校との調整で  
決まりました教諭の氏名を  
御記入ください

- 1 日 時 令和〇〇年〇〇月〇〇日（ ）〇〇時～〇〇時
- 2 場 所 〇〇〇〇
- 3 対象児童生徒 〇年●組 生徒
- 4 日程 00:00～00:00 打ち合わせ（場所）  
00:00～00:00 校時  
00:00～00:00 校時  
⋮  
00:00～00:00 ケース会議（場所・参加者）
- 5 依頼内容
  - （1）該当生徒／該当学級の授業参観および行動観察
  - （2）生徒／学級への支援についてのケース会議
- 6 管理職、学年主任、担任、教育相談コーディネーター、学年教諭、教科担当教諭、養護教諭、SC、その他支援に関わる先生方等

情報や支援方法を学校全体で共有し、巡回相談対象以外の児童生徒にも支援方法を活用できるよう、なるべく多くの方に参加頂きますようお願い致します。

県立〇〇〇高等学校  
担当 〇〇〇〇  
TEL:000-000-0000

様式 1

<受付番号 ( ) について>

1. 相談主訴 (困っていて相談したい内容)

① 該当する相談内容を全て□ (四角) で囲んでください。  
 【学習 行動 不登校 発達 (言語・運動等) 家庭・地域生活 情報提供 その他 (障害に関する事など)】  
 ② 具体的内容 <記入例 学習: 授業に集中できず、友達にいたずらをするなど不適切な行動を繰り返す。>

2. 対象生徒の実態

記入例

知的発達の状況 (療育手帳の判定や発達検査等の結果など)	
学習状況 (比較的取組やすい、もしくは取り組みにくい教科や活動)	
相談内容に関する気になる行動	
コミュニケーションの方法や様子 (要求や拒否をどのように伝えているかなど)	
対人関係 (教員や他生徒と関わり上で特徴的なこと)	
家庭環境 (家族構成、家族が問題をどう捉えているかなど)	
関係機関との連携 (利用や関係している機関など)	
その他	

3. 気になる行動のきっかけやその結果 (関わり方や支援の方法) について

きっかけ	相談に関する気になる行動	結果
① 授業中、昼休み	①他生徒にちょっかいをかける ②担任が不穏になる前に本人に話しかける	▶①教員が注意するが、繰り返す ▶②比較的落ち着いて過ごせる

巡回相談の希望日：調整のため候補日を3つ挙げてください。

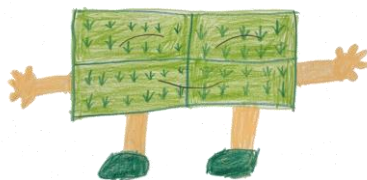
\_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ( )      ② \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ( )      ③ \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ( )







湯河原校舎 ゆるキャラ  
ユノッシー



大井分教室 ゆるキャラ  
たんぼ丸



大井分教室 ゆるキャラ  
シカ分教ガール



うめちゃん      ともちゃん



おだようサブキャラ  
おだマエ



大井分教室 ゆるキャラ  
さくらシカ丸



神奈川県立 小田原支援学校  
〒250-0865  
小田原市蓮正寺 1021

TEL 0465-37-2758 17時まで  
FAX 0465-37-5356